

技 術 科

◎堀内 直人

1 目指す生徒の姿

豊かな社会を切り拓こうとする自立した学習者

2 全校研究テーマ

「キャリア×STEAM」の学習による、新たな価値を創造できる資質・能力の育成

3 技術科における「新たな価値を創造できる資質・能力」の捉え

ア 問題発見・解決能力 各教科等の「見方・考え方」を自在に働かせ、本質的な問いを見いだすこと	イ 批判的思考力 多面的・多角的に考察し、よりよい解決方法を見いだすこと	ウ 自分のよさや可能性を認識し、その力をさらに伸ばしたり、社会に生かそうとしたりする力 自己の生き方を尊重できること、他者を尊重し多様な他者と協働できること、社会貢献したり持続可能な社会を創造しようとしたりすること
生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、実践を通じて課題を解決すること	多様な側面や場面、複数の立場から判断し、最適化して考えること	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする

4 技術科における全校研究テーマの受け止め

中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説技術・家庭編第 2 章第 2 節技術分野の目標には「生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、（中略）課題を解決する力を養う」や「よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向け、（中略）技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う」と示されている。また、技術の見方・考え方を働かせるとは、「生活や社会における事象を、技術との関わりの視点で捉え、社会からの要求、安全性、環境への負荷や経済性などに着目して技術を最適化すること」と示されている。

技術科の授業において、問題解決学習の対象を身近な生活から始めて段階的に社会全体に広げていくことや、既存の技術を評価、選択、管理・運用することで解決できる問題から改良、応用しなければ解決できない問題へと発展させるなど、3 学年間見通して計画的に学習を行っていくことで、技術の「使い手」としてだけでなく、社会の問題を主体的に解決していこうとする技術の「作り手」としての資質・能力を育成できると考えている。このような力を活かしつつ、他教科の見方・考え方も同時に働かせることで社会のさまざまな問題を解決する「あさひのプロジェクト」の学習にもつながると考える。

以上のことから、「学習指導要領」の具現と「新たな価値を創造できる資質・能力」を育成するために、令和 5 年度の技術科の研究テーマを以下のように設定した。

5 令和 5 年度 技術科研究テーマ

生活や社会における課題についての解決策を複数の側面や立場から検討し、最適な方法によって解決する力を高める学習の在り方

特 別 活 動

◎堀口 はるか ○青木 孝文 金子 智

1 目指す生徒の姿

豊かな社会を切り拓こうとする自立した学習者

2 全校研究テーマ

「キャリア×STEAM」の学習による、新たな価値を創造できる資質・能力の育成

3 特別活動における「新たな価値を創造できる資質・能力」の捉え

ア 問題発見・解決能力 各教科等の「見方・考え方」を自在に働かせ、本質的な問いを見いだすこと	イ 批判的思考力 多面的・多角的に考察し、よりよい解決方法を見いだすこと	ウ 自分のよさや可能性を認識し、その力をさらに伸ばしたり、社会に生かそうとしたりする力 自己の生き方を尊重できること、他者を尊重し多様な他者と協働できること、社会貢献したり持続可能な社会を創造しようとしたりすること
生活の中で生じる課題を見いだし、解決のために話し合い、決まったことを実践して振り返り、次の課題解決に向かうこと	異なる意見や意思をもとに、解決方法を模索し、多面的・多角的に考えて、課題や解決方法を見いだすこと	多様な集団に所属し、その中でよりよい人間関係を形成しようとしたり、よりよい集団や社会を構築しようとしたり、自己実現を図ろうとすること

4 特別活動における全校研究テーマの受け止め

中学校学習指導要領（平成 29 年度告示）解説特別活動編第 2 章第 2 節 1 の人間形成と特別活動には、「複雑で変化の激しい社会をたくましく生きていかなければならない生徒には、多様な他者と協働して創造的に課題を解決する力や、希望や目標をもって生きる態度を身に付けることが重要である。」と示されている。

本校、特別活動では多様な他者と協働して創造的に課題を解決する力を高めるために、主体的に生活をよりよくするための課題を解決する力を高めることが大切だと考えた。そのために、学級や一人一人の課題を把握し、解決しなければならない理由を明確にして、その解決方法を友と話し合い実践して振り返り、次に取り組むべき課題や解決方法を見いだししていくことが大切だと考えた。

このような学習の課程を積み重ねていくことで、「新たな価値を創造できる資質・能力」が育成され、「あさひのプロジェクト」においても、企画して行った活動をグループの友と話し合って振り返り、新たな活動を決め出す際などに、特別活動で育成された力が発揮されると考えた。

以上のことから、「学習指導要領」の具現と「新たな価値を創造できる資質・能力」を育成するために、令和 5 年度の特別活動の研究テーマを次のように設定した。

5 令和 5 年度 特別活動研究テーマ

生活をよりよくするための課題を解決する力を高める学習の在り方